

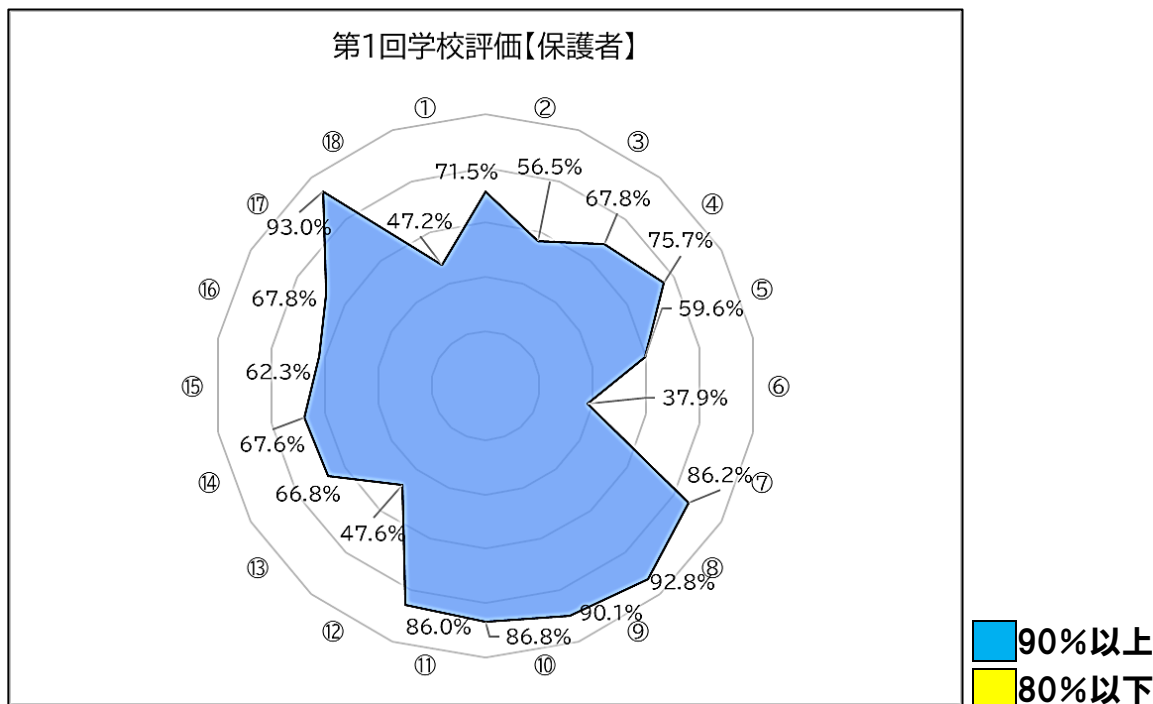
令和6年度築山小学校【1回目】学校評価結果について

玉名市立築山小学校 校長 北岡 誉久

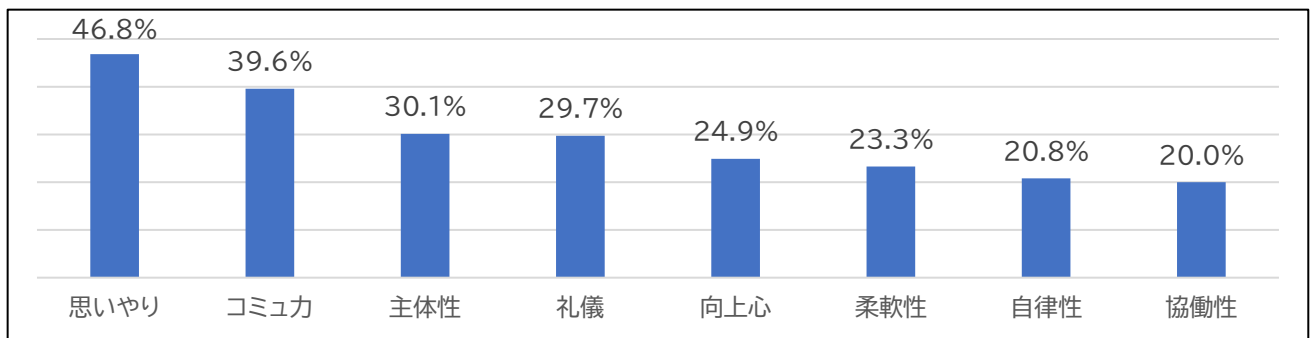
ご協力いただきました、1回目の学校評価アンケートありがとうございました。本年度から年間2回の学校評価を実施することとしました。今回の結果を基に、修正できるところを検討し、今後の教育活動に反映させて参ります。

※グラフは、各質問項目において「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合を併せた数値となっていますので、低い項目は「どちらかといえばそう思わない」「思わない」「わからない」の数値が高いことを意味します。
※自由記述欄に記名の上記載された方には、別途学校からの回答をお返しすることとしています。

【保護者による評価】



問1	築山小は、本年度の教育目標「しなやかで、凛とした子供の育成」に向けた取組ができていると思いますか。	71.5%
問2	お子さんは、主体性(先を見通して自分で動くこと)が身に付いていると思いますか。	56.5%
問3	お子さんは、柔軟性(世の中の変化にしなやかに対応できること)が身に付いていると思いますか。	67.8%
問4	お子さんは、「学習内容がわかる」と言っていますか。	75.7%
問5	お子さんは、宿題や家庭学習を工夫して取り組んでいますか。	59.6%
問6	お子さんは、メディアの時間(スマホやテレビ、ゲームなど)をコントロールする力が身に付いていると思いますか。	37.9%
問7	あなたは、自分からお子さんに対して、明るく元気なあいさつをすることができますか。	86.2%
問8	お子さんは、楽しく学校に通うことができますか。	92.8%
問9	お子さんは、いじめを許さないなどの人権意識が育っていると思われますか。	90.1%
問10	お子さんは、約束やきまり(家庭内・学校内・交通ルール等)を守った生活ができていますか。	86.8%
問11	お子さんは、生活リズム(早寝・早起き・朝ご飯)の習慣が身に付いていますか。	86.0%
問12	お子さんは、地域とのつながり(地域での行事や活動等)を通して、地域への愛着が身についていると思いますか。	47.6%
問13	築山小は、お子さんの良さを伸ばすために、学校運営協議会や地域人材を活用した取組(地域学校協働活動)に力を入れていると思いますか。	66.8%
問14	築山小は、いじめや差別をなくするために、人権教育や心の教育に力を入れていると思いますか。	67.6%
問15	築山小は、学力を伸ばすために授業や個別指導などを工夫して行っていると思いますか。	62.3%
問16	築山小は、体力や健康面を考えた取組を工夫して行っていると思いますか。	67.8%
問17	築山小は、「学校だより・ホームページ・学級通信・安心メール等」で、学校や学級の様子を適切に伝えていると思いますか。	93.0%
問18	築山小は、職員の働き方改革に向けた業務改善ができていると思いますか。	47.2%
問19	お子さんに身につけてほしい力(必要な資質・能力)を3つ選んでください。【上位8つの力を表示】	



【学校教育目標に関する内容 問1～問3】

教育目標は、学校だけでなく保護者や地域の方にも広く理解いただき、その実現に向けて取り組んでいくことが大切だと考えています。今後ともよろしくお願ひします。

- ▲ 教育目標、主体性、柔軟性について、いずれも80%を下回りました。特に、主体性については、60%を下回っています。子供たちが生きていくこれからの世の中は、予測不能な時代になると言われます。子供たちが受け身にならず、課題に気づき、その課題を解決していくことで新たな未来を創り上げる力が必要です。そのためにも、自分たちで授業及び学級・学校を創っていく活躍の場を増やしていきたいと思ひます。

【学習に関する内容 問4～問5】

- ▲ 学習内容がわかると言っているご家庭が8割に満たない状況は、私たちとしてもしっかりと受け止めなければならないと思ひます。
- ▲ 宿題や家庭学習を工夫して取り組ませるためには、子供たちが工夫しなければ取り組めないような課題設定を考える必要があります。授業の中で新たな疑問がわき、自ら問いを持って取り組めるような家庭学習を行うなどの工夫改善に取り組んでいきます。

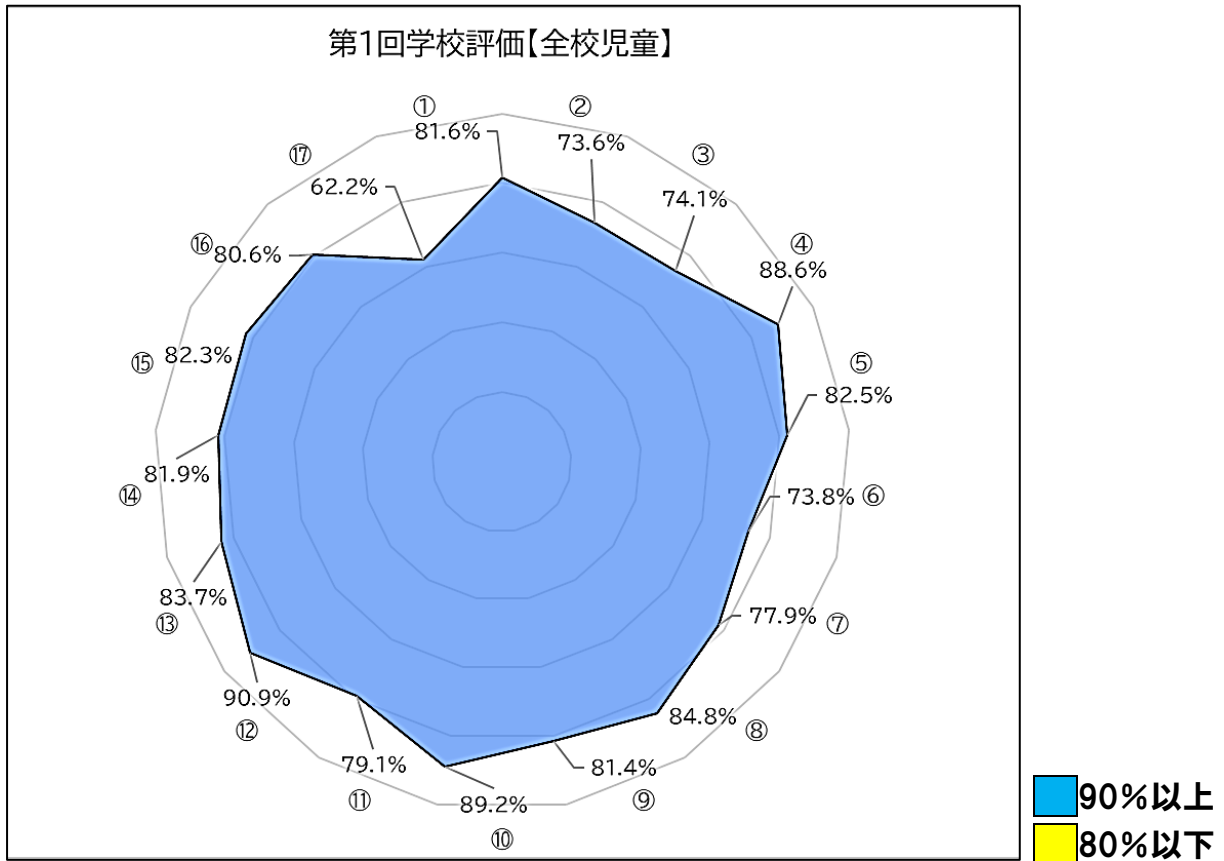
【子供さんの様子や家庭生活及び地域とのつながりに関する内容 問6～問13】

- 「楽しく学校に通っている」「いじめを許さないなどの人権意識が育っている」の項目が90%をこえています。引き続き学校が安心・安全な居場所にしていきます。
- ▲ 問5にも通じる「メディアコントロール」に関して、これからの時代は、スマホが生活の必需品になることは否めません。しかしながら、与える以上はルールや制約を親子で話し合っていくことが必要です。生活リズムを崩し、ネットトラブルや課金問題、小学生段階に必要な時間（睡眠や親子の会話、読書、家庭学習等）にしわ寄せが来るようでは、本末転倒です。各家庭でのルール作りを再考願ひます。
- ▲ 地域とのつながりを通じた地域への愛着については、以前と比べると地域における行事や子ども会の減少などマイナス要素が大きいと思ひますが、子供たちは、校区や玉名市のことを大切にしたいという気持ちを強く持っています。今後も地域人材と多く触れ合うことで校区や地域を守っていく人材育成に努めていきたいと思ひます。

【築山小の取組に関する内容 問14～問19】

- 今後も学校の様子を伝えていきますので、親子でも話題にしていただければ幸いです。
- ▲ 人権教育や学力向上、体力向上などの取組は、「わからない」という回答が多かったため、様々な形でご理解いただけるよう周知方法を工夫改善していきたいと思ひます。
- ▲ 働き方改革は、職員の健康を守ることで子供に還元されます。学校でできる範囲の内容や勤務時間等へのご理解及びご協力をお願いします。

【児童による評価】



問1	「築山っ子 7 か条」に向けた取組ができていると思いますか。	81.6%
問2	主体性(先を見通して自分で動くこと)が身に付いていると思いますか。	73.6%
問3	柔軟性(世の中の変化にしなやかに対応できること)が身に付いていると思いますか。	74.1%
問4	学校の授業(学習内容)はわかりますか。	88.6%
問5	宿題や家庭学習を工夫してがんばっていますか。	82.5%
問6	メディアの時間(スマホやテレビ、ゲームなど)をコントロールする力が身に付いていると思いますか。	73.8%
問7	自分から家庭内や地域で明るく元気なあいさつをすることができますか。	77.9%
問8	楽しく学校に通うことができますか。	84.8%
問9	友達をからかったり、いじめたりすることを許さない心が身についていますか。	81.4%
問10	学校や家、地域(公園など)での約束やきまり(交通ルールも)を守った生活ができていますか。	89.2%
問11	生活リズム(早寝・早起き・朝ご飯)は守れていますか。	79.1%
問12	地域とのつながり(地域での行事や活動等)を通して、築山小学校区や玉名市のことを大切にしたいと思いますか。	90.9%
問13	地域の人たちと一緒に学習や活動をすることは楽しいですか。	83.7%
問14	いじめや差別をなくするために、道徳や人権学習で学んだことをいかして生活していますか。	81.9%
問15	自分の学力をのばすためにせっきょくてきに授業に参加したり、家庭学習に取り組んだりしていますか。	82.3%
問16	体力の向上や健康面を考えた生活をおくっていますか。	80.6%
問17	学校だよりや学級通信、ホームページを読んだり、おうちの人と話題にしたりしていますか。	62.2%

【学校教育目標に関する内容 問1～問3】

- ▲ 「主体性（先を見通して自分で動くこと）」「柔軟性（世の中の変化にしなやかに対応できること）」が身についているかという問いに対して、いずれも80%以下の回答という結果でした。授業はもちろん、全ての教育活動においてこれらを常に意識させるような取組を進めていきたいと思えます。

【学習に関する内容 問4～問5】

- 「授業（学習内容）がわかる」と答えている子供は、90%に迫る状況でした。しかしながら、「わかったつもり」にはなることができて、本当に自分の中に身に付くには、「友達におしえられるようになる」「自分で問題を作ることができるようになる」ことが必要です。そうした点を今後重視していきます。

【生活及び自分自身のことに関する内容 問6～問11】

- 「楽しく学校に通うことができる」という項目について、約85%を超す肯定的な回答でした。引き続き、子供たちにとって心理的安全性の高い学校・学級にしていきたいと思います。しかし、少数ながらその逆の回答をしている子供たちがいることへの対応も忘れてはならないと考えています。
- ▲ 「自分からあいさつをする」が約78%となっていました。校内だけでなく、校外でも自ら進んであいさつができるように声かけを進めていきたいと思えます。良きロールモデルとして、玉名中学校の生徒さんたちの姿を参考にしてほしいところです。
- ▲ メディア時間をコントロールすることについては、子供たちも低い結果でした。このことにつきましては、学校でも情報安全の視点で指導を進めるとともに、今一度各家庭で話し合いのもとルール作りをお願いします。限られた1日の時間をメディア（ゲームや動画配信、SNS等）に奪われないようにお願いします。

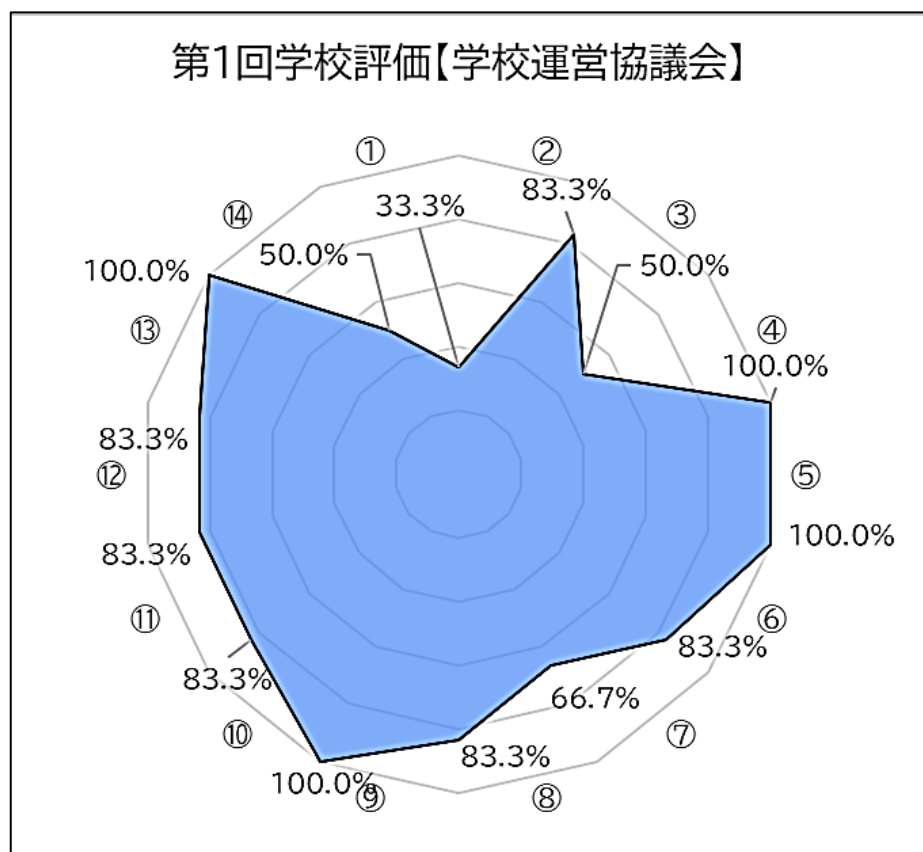
【地域とのつながりや学んだことを生かそうとすることに関する内容 問12～問16】

- 保護者や教職員の評価では高くなかった「問12」の回答は90%を超えています。各学年において、積極的に地域の教育力を導入したり、地域素材の学習に取り組んだりする（生活科や総合的な学習の時間など）ことで、地域愛が醸成されていると考えられます。子供たちも多くの地域人材との関わりで、コミュニケーション力や社会性を身につけていくことにつながります。まさしく「人は人のシャワーを浴びて人になる」ということではないでしょうか。今後も引き続きこれらの取組を進めていきたいと思えます。

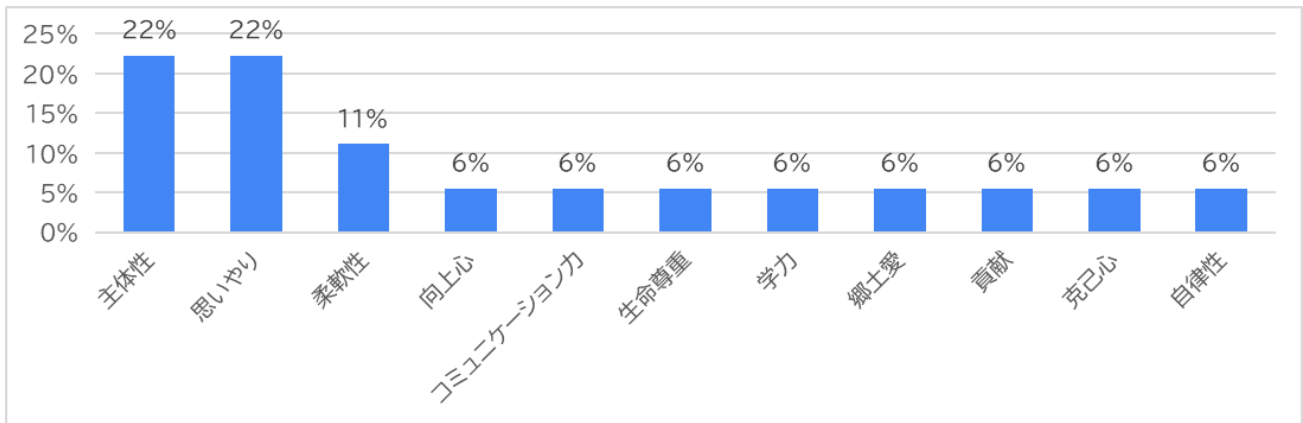
【学校からのお知らせを家族と共有することに関する内容 問17】

- ▲ 学校の情報を頻繁に発信していることへの評価は、保護者の結果からもうかがえますが、子供たちはこれらの情報について、家庭で話題にしていけないことが垣間見えます。今後は、学校の情報を元に親子の会話のきっかけにしていいただければ幸いです。

【学校運営協議会委員による評価】



問 1	あなたは、本年度の教育目標「しなやかで、凛とした子供の育成」に向けた取組を提案又は実践されていますか。	33.3%
問 2	あなたは、子供たちの主体性(先を見通して自分で動くこと)を意識した取組を提案又は実践されていますか。	83.3%
問 3	あなたは、子供たちの柔軟性(世の中の変化にしなやかに対応できること)を意識した取組を提案又は実践されていますか。	50.0%
問 4	あなたは、自分から進んで登下校など地域において、子供たちに明るく元気なあいさつをすることができますか。	100.0%
問 5	あなたは、子供たちに対して、いじめを許さないなどの人権意識を育てる言葉かけなどをしていますか。	100.0%
問 6	あなたは、子供たちが約束やきまり(地域における交通ルールや帰宅時刻、公園などでの遊び方等)を守るような声かけや取組をしていますか。	83.3%
問 7	あなたは、子供たちの生活リズム(早寝・早起き・朝ご飯)の習慣が身に付くように、家庭への声かけや啓発等の提案又は実践をされていますか。	66.7%
問 8	あなたは、子供たちに対して、地域とのつながり(地域での行事や活動等)を通して、地域への愛着を身につける提案又は実践をされていますか。	83.3%
問 9	築山小は、子供たちの良さを伸ばすために、学校運営協議会や地域人材を活用した取組に力を入れていると思いますか。	100.0%
問 10	築山小は、いじめや差別をなくすために、人権教育や心の教育に力を入れていると思いますか。	83.3%
問 11	築山小は、学力を伸ばすために授業や個別指導などを工夫して行っていると思いますか。	83.3%
問 12	築山小は、体力や健康面を考えた取組を工夫して行っていると思いますか。	83.3%
問 13	築山小は、学校や学級の様子及びお知らせ(学校だより・ホームページ・学級通信・安心メール等で)を適切に伝えていると思いますか。	100.0%
問 14	築山小の働き方改革に向けた業務改善について、提案又は実践をされていますか。	50.0%
問 15	築山小の子供たちに身に付けてほしい力(資質・能力)を3つ選んでください。	



【学校教育目標に関する内容 問1～問3】

▲学校運営協議会制度が導入される前の「学校評議員制度」との大きな違いの一つに、学校運営協議会委員となった方々は、学校とともに学校運営を担っていただくことが挙げられます。教育目標や身に付けてほしい資質・能力についても常に共有を図り、ともに取り組んでいただきますようよろしくお願いいたします。

【子供たちへの生活や規範意識、地域愛の育成に関する内容 問4～問8】

○各委員それぞれのお立場で関わるができる場面は様々だと思いますが、それぞれに工夫して取り組んでいただいていますことに感謝いたします。引き続きよろしくお願いいたします。

▲生活リズムに関する家庭への提案・啓発は、とても難しいところだと思います。今年は、子供たちと一緒に話し合いをする機会も増えてきましたので、子供たちに声をかけていただいたり、PTA活動に提案されたりすることも考えられるのではないのでしょうか。子育ては地域全体で行うことを発信できる学校運営協議会でありたいと思います。

【築山小の教育活動に関する内容 問9～問14】

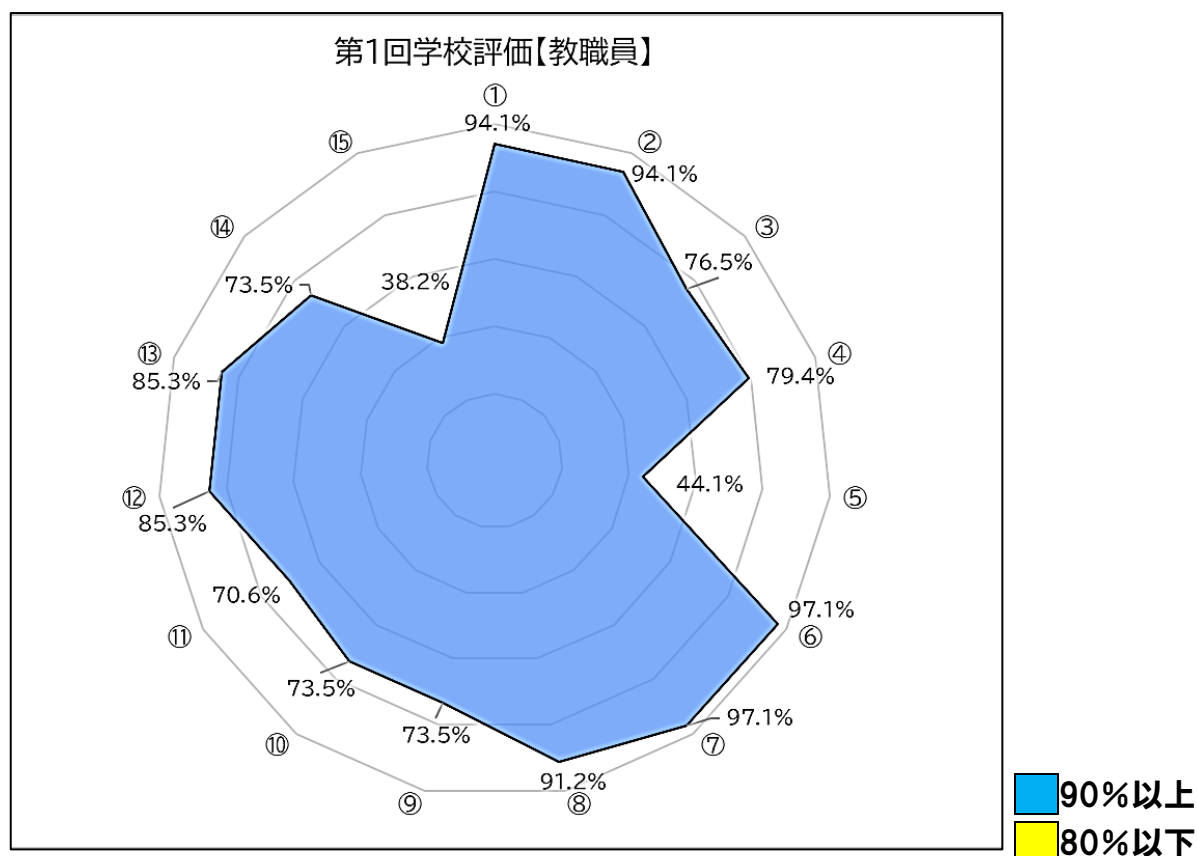
○いずれも高い評価をしていただいています。今後も学校運営協議会では、学校運営とともに進めていくために、学校教育目標の実現に必要な取組や課題を常に共有し、熟議を重ねていきたいと思っております。そして、子供が自立する（子供が育つ）ために必要なことを出し合い、検証していけるようにしていきます。

○もう一つ高い評価をいただいた「学校からの情報発信」につきましても、学校だよりやHPについて、委員の皆様にも常に共有できるようにするとともに、「伝える」で終わらず、「伝わる」紙面の工夫を行ってまいります。

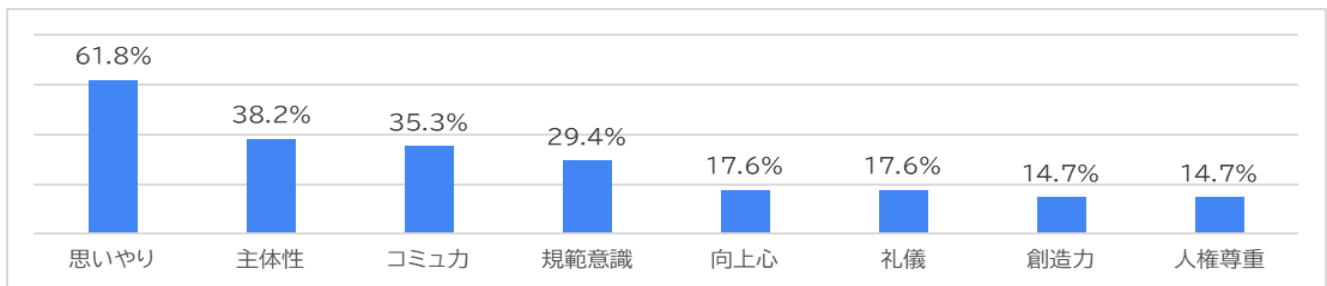
▲本校の働き方改革につきましては、第2段階に入っていると思っております。第1段階は、市教委からの提供で「留守番電話の設置」「校務のICT化」といったことです。

今後は、第2段階としてこれらの時間を有効活用しつつ、子供たちのために先生方一人一人が、自分自身のウェルビーイングな生活を心がけることが必要です。しかし、そのためには保護者や地域住民の理解が不可欠です。今後は、家庭を含む地域全体への啓発等にご協力いただきますようお願いいたします。

【教職員による評価】



問 1	あなたは、本年度の教育目標「しなやかで、凛とした子供の育成」に向けた取組ができていますか。	94.1%
問 2	あなたは、子供たちに身に付けてほしい「主体性(先を見通して自分で動くこと)」を意識した教育活動に取り組んでいますか。	94.1%
問 3	あなたは、子供たちに身に付けてほしい「柔軟性(世の中の変化にしなやかに対応できること)」を意識した教育活動に取り組んでいますか。	76.5%
問 4	子供たちは、「学習内容がわかる」と思っていますか。	79.4%
問 5	子供たちが、工夫して取り組める宿題や家庭学習を出していますか。	44.1%
問 6	あなたは、自分から子供たちに対して、明るく元気なあいさつをすることができますか。	97.1%
問 7	あなたは、いじめを許さないなどの人権意識を育てる指導や取組ができていますか。	97.1%
問 8	あなたは、子供たちが、約束やきまり(家庭内・学校内・交通ルール等)を守るような指導や取組ができていますか。	91.2%
問 9	あなたは、子供たちが、生活リズム(早寝・早起き・朝ご飯)の習慣を身に付けるような声かけをしていますか。	73.5%
問 10	子供たちは、地域とのつながり(地域での行事や活動等)を通して、地域への愛着が身についていると思いますか。	73.5%
問 11	あなたは、子供たちの良さを伸ばすために、学校運営協議会(CS)や地域人材を活用した取組(地域学校協働活動)を活用していますか。	70.6%
問 12	あなたは、子供たちの学力を伸ばすために、授業や個別指導などを工夫して行っていますか。	85.3%
問 13	あなたは、子供たちの体力や健康面を考えた取組を工夫して行っていますか。	85.3%
問 14	あなたは、学級や子供たちの様子及びお知らせ等を各家庭にわかりやすく伝えていきますか。	73.5%
問 15	あなたは、働き方改革に向けた業務改善ができていますか。	38.2%
問 16	子供たちに身につけてほしい力(必要な資質・能力)を3つ選んでください。【上位8つの力を表示】	



【学校教育目標に関する内容 問1～問3】

- 教育目標の実現及び主体性を意識した取組が高い結果となりました。日頃からこれらを意識した教育活動を今後も続けて参ります。反面、柔軟性については若干低い結果でした。イメージがしづらいことも要因の一つと考え、より具体的な子供の姿を共通理解しながら取り組んでいきたいと思ひます。

【学習に関する内容 問4～問5】

- ▲ いずれも80%を下回る結果でした。誰一人取り残さない学びの保障を今後も学校総体として取り組んでいきたいと思ひます。また、家庭学習についても、単なる宿題ではなく自ら学びに向かうような内容を工夫するなど、今後も工夫改善を図り、子供たちの学習習慣形成に取り組んでまいります。

【子供たちの生活等に関する内容 問6～問9】

- いずれも高い評価となっています。引き続き、全職員が同じスタンスで「いじめを許さない」といった人権意識の醸成を進めていきたいと思ひます。また、「教師の姿こそ最大の教えである」ことを心がけて、自ら進んで元気なあいさつを行って参ります。
- ▲ 生活リズム等につきましては、学校でも引き続き声をかけていきますが、家庭とも連携を図っていけるよう、啓発を行ってきたいと思ひます。

【地域とのつながりや連携に関する内容 問10～問11】

- ▲ 今年から、地域学校協働活動推進員が2名体制になったため、気兼ねなく相談して、子供たちの資質・能力の向上を目的とした活動をさらに増やしていきたいと思ひます。その上で、生活科や総合的な学習の時間を生かし、地域を知り・地域から学ぶことを通して、地域のために行動できる子供たちが育つようにしていきます。

【教職員自身の取組に関する内容 問12～問15】

- 子供たちの学力保障に向けた取組や体力向上に向けた取組を意識していることがわかります。子供たちを誰一人取り残すことなく学力を保障していくことや生涯スポーツに親しめるような素地を築くことを今後も続けていきたいと思ひます。
- ▲ 学校からの情報提供（学級通信やHP等）については、意識して取り組んでいることがわかります。ただし、「伝える」と「伝わる」ことは違いますので、タイムリーかつ分かりやすい情報提供を進めて参ります。
- ▲ 働き方改革については、全国的に問題となっています教職員不足も影響しています。今、働き方改革を断行しなければ、職員不足が加速し子供たちに影響が出てしまいます。ウェルビーイングな職場でなければ、子供たちへの指導はもちろん、細かい配慮も難しくなります。子供たちのための働き方改革であることを家庭・地域の方にもご理解いただきますようお願いいたします。